

東京港における植物の輸入状況（令和 3 年上半期 1 月～6 月）

今年 5 月、東京港は 1941 年の開港から 80 周年を迎えた。首都圏の経済・生活を支える国内最大のコンテナ港湾である。昨年の外貿コンテナ取扱個数は、新型コロナウイルス感染拡大などの影響で前年比 6% 減少の 426 万 TEU と 2 年連続で前年を割り込んだ。この夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されたが、コンテナターミナルのゲート混雑や周辺道路の渋滞といった懸念された混乱もなく、おおむね正常の稼働であった。

令和 3 年上半期（1～6 月）の東京港における植物検疫対象輸入植物の概要は表のとおりで、重量ベースで 99.2 万ト（前年比 92.9%）と 3 年連続で減少となった。コロナ禍による緊急事態宣言発令により、業務需要が急激に縮小したほか、海上運賃の値上げ、空コンテナ不足による物流混乱などの影響も減少理由の一つとされる。

栽植用植物：前年比 107.1% と増加した。主な品目は、ファレノプシス属苗がベトナムなどから 376 千個（同 100.4%）、中国産ヒカゲノカズラ属苗が 603 千個（同 111.9%）で、イスラエル産ユッカ属苗が同港初輸入された。

栽植用球根：前年比 89.2% と減少した。主な品目は、ユリがオランダ、フランスから 888 万球（同 89.9%）、オランダ産特殊容器入りアマリリスが 93 千球（同 99.4%）で、いずれも減少した。

栽植用種子：前年比 68.4% と減少した。主な品目は、牧草などの飼料・緑肥作物類が 531 ト（同 56.8%）と野菜類が 399 ト（同 74.0%）と減少し、トウモロコシなどの普通・特用作物類が 369 ト（同 101.8%）と増加した。

切花、切葉、切枝：前年比 98.5% と減少した。主な品目は草本類のキク 3,901 万本（同 104.8%）、カーネーション 1,222 万本（同 109.8%）と増加。ヒサカキ・サカキなどの木本類は 6,390 万本（同 94.7%）と減少した。6 割を占める中国産は 7,389 万本（同 104.5%）と増加した。

果実：前年比 91.4% と減少した。5 割以上を占めるバナナ

は 10 カ国から輸入され 131,144 ト（同 97.7%）と減少した。主要産地のフィリピン産は 121,917 ト（同 100.3%）、エクアドル産 2,435 ト（同 67.1%）、ベトナム産 2,328 ト（同 148.9%）でラオス産が同港初輸入された。最多コンテナ 769 本（対前年+596 本）のパインアップルは 24,982 ト（同 154.2%）で特に台湾産が 8,125 ト（同 672.8%）と増加、キウイフルーツ 20,155 ト（同 79.2%）と減少した。柑橘類ではグレープフルーツ 12,660 ト（同 87.3%）、オレンジ 8,800 ト（同 60.0%）、レモン 4,388 ト（同 147.6%）であった。

野菜：前年比 94.0% と減少した。コンテナ本数 4,898 本（-256 本）と減少し、過去 10 年で最少本数となった。約 8 割を占める中国産は 99,811 ト（同 95.0%）と減少し、次いでニュージーランド産が 12,850 ト（同 93.2%）と減少、米国産は 2,464 ト（同 64.2%）と主要 3 カ国すべて減少した。約 4 割を占めるタマネギは 46,425 ト（同 96.8%）、その他主要品目のカボチャ 10,012 ト（同 87.1%）、ナガネギ 9,948 ト（同 89.9%）は減少した。ニンジン 16,430 ト（同 102.3%）と増加した。

穀類：前年比 74.2% と減少した。5 割以上がコムギで 90,319 ト（同 78.5%）と減少した。モルトは 11 カ国から輸入され 40,152 ト（同 64.1%）と減少した。

豆類：前年比 78.5% と減少した。9 割以上がダイズで 8 カ国から輸入され 61,188 ト（同 76.5%）、コンテナ本数 3,062 本と 873 本減少した。

嗜好香辛・薬染料・その他食品：前年比 103.1% と増加した。アーモンド 11,052 ト（同 104.1%）、クルミ 6,593 ト（同 104.9%）と増加した。

油料・肥飼料・その他雑品：前年比 107.3% と増加した。乾燥牧草が 288,151 ト（同 108.0%）で主要産地である米国産コンテナ本数は 10,457 本と 550 本増加した。

木材：輸入貨物無し。（業務グループ 青島 英夫）

表 植物の分類別輸入数量（東京港）

分類 単位 年次	栽植用植物	栽植用球根	栽植用種子	切切切花葉枝	果実	野菜	穀類	豆類	嗜好香辛料・他辛染食料料品	油肥料の他飼雑料料品	木材	* 合計
	(千個)	(千個)	(千トン)	(千個)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(m^3)	(千トン)
令和3年上半期	1,045	8,952	1.3	130,132	225	127	156	66	33	381	0	992
令和2年上半期	975	10,028	1.9	132,051	246	135	210	84	32	355	10	1,067
令3/令2年比(%)	107.1%	89.2%	68.4%	98.5%	91.4%	94.0%	74.2%	78.5%	103.1%	107.3%	0.0%	92.9%

* 合計は、重量単位の数量のみ集計した。

アメリカ合衆国産せいようすもの生果実**に関する植物検疫実施細則の一部改正について**

アメリカ合衆国産にほんすもの生果実の輸入が解禁されるに伴い「植物防疫法施行規則」及び「アメリカ合衆国から発送されるせいようすもの生果実に係る農林水産大臣が定める基準」が改正され8月19日に公布及び施行された。また、それにあわせて「アメリカ合衆国産せいようすもの生果実に関する植物検疫実施細則」が改正された。

すもも生果実は、同国においてコドリングが発生していることから、規則別表2の5の項の規定により、輸入禁止とされている。平成13年3月、同国産せいようすもも生果実について、生産地域の指定、コドリングに対する臭化メチルクン蒸処理等を条件に輸入解禁された。

主な改正内容は、にほんすもの生果実について規則別表2（付表第37）に追加され、基準については、生産地域の指定に係る規定の削除、こん包条件のうち、こん包場所に係る規定の削除、こん包した状態での消毒、消毒後のこん包の2つに場合分けなどとされた。

詳細につきましては、植物防疫所ホームページでご確認下さい。

.....

トルコ産オレンジ、マンダリン、オレンジと**マンダリンの交雑種の生果実の輸入解禁について**

8月31日付けで新たにトルコ産オレンジその他のシトラス・シネンシス（オレンジ等）、マンダリンとオレンジとの交雑種その他のシトラス・レティクラタとシトラス・シネンシスとの交雑種（マンダリンとオレンジの交雑種等）及びマンダリンその他のシトラス・レティクラタ（マンダリン等）の生果実が輸入解禁された。

それに伴い「トルコから発送されるグレープフルーツその他のシトラス・パラディシ及びレモンその他のシトラス・リモンの生果実に係る農林水産大臣が定める基準」、「トルコ産グレープフルーツその他のシトラス・パラディシ及びレモンその他のシトラス・リモンの生果実に関する植物検疫実施細則」が改正された。

新たに追加された輸入条件の概要は以下のとおり

輸送方法：船積貨物として輸入されたもの

消毒：低温処理施設、低温処理船舶又は低温処理コンテナにおいて、次により消毒が行われたものであること。

○**オレンジ等**：果実中心部が摂氏2.0度となった後16日間、又は摂氏3.0度となった後20日間その温度以下で消毒。

○**マンダリンとオレンジとの交雑種等**：果実中心部が摂

氏2.0度となった後18日間、又は摂氏3.0度となった後20日間その温度以下で消毒。

○**マンダリン等**：生果実中心部が摂氏2.0度となった後23日間その温度以下で消毒。

その他詳細につきましては、植物防疫所ホームページでご確認下さい。

.....

ジャガイモやせいもウイロイド（PSTVd）の**発生が新たに確認された国への対応について**

本年8月、植物防疫法施行規則別表2の2に規定されているPSTVdがウガンダ、カザフスタン、ケニア及びパキスタンで発生していることが判明した。このためPSTVdの宿主植物（とうがらし、トマト、カリブラコア属植物など）について、輸出前に適切な遺伝子的手法を用いた検定でPSTVdに侵されていないことを確認し、その旨を検査証明書に追記することが要求されている。

本措置の発効日：令和3年9月29日

対象植物：貨物、郵便物、携帯品でウガンダ、カザフスタン、ケニア及びパキスタンから輸入される、規則別表2の2の第24項に掲げる植物

輸出前検定：遺伝子的手法による検定を実施

なお、発効日以降に発行された検査証明書には、上記の輸出前検定についての追記がされていない場合、廃棄又は返送の措置となります。詳細につきましては、植物防疫所ホームページでご確認下さい。

.....

くん蒸安全旬間ポスター図案決まる

（一社）全国植物検疫協会が毎年実施している植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案選考会が去る9月8日にTKP神田駅前ビジネスセンターカンファレンスルームで開催された。

全植検協の選考委員にくわえて、農水省担当官及びポスター印刷会社のデザイナーにより、全国の植物検疫（防疫）協会、防除業者の職員が応募した95点にのぼる作品について、厳正な審査が行われた。

その結果、最優秀賞には、九州植物検疫協会・小山剛氏の作品が選ばれ、例年通り11月1日から10日まで実施される植物検疫くん蒸安全旬間のPR用ポスターとして、全国の関係者に配布されることになった。

なお、当協会からも13点応募し、次の作品が入賞した。

- 優秀賞 永谷 祐介 （総務グループ）
- 入選 有働 昌平 （業務グループ）
- 入選 新藤 尋人 （業務グループ）
- 入選 菊口 侑加里 （総務グループ）

会 員 ・ 役 員 の 異 動（令和3年8月1日～令和3年9月30日）

☆入会会員

8月3日(株) 大倉商事 [商社] 〒312-0011 茨城県ひたちなか市中根六ツ野4924 ☎ 029 (274) 8000
 (株) 新興貿易 [商社] 〒169-0051 新宿区西早稲田3-30-16 ☎ 03 (6233) 9710

タイム eye

業務グループ 中国産ブドウホオズキ生果実初輸入

9月4日品川9号入港 PEGASUS UNIX で中国産ブドウホオズキ生果実が東京港に初輸入され、検査結果は無事合格となった。

日本の観賞用ホオズキに似ているが、ブドウホオズキ（シマホオズキ 学名：*Physalis peruviana*）には実を包む萼が細かい毛に覆われているという特徴が見られる。だが今回の輸入時は果実のみでの状態だった（写真）。南アメリカ原産のナス科ホオズキ属の植物で、食用となる実をつけ果実は生の状態で食べることができる。同じ中国産で注意しなければならないのが、ブドウホオズキと名前が似ているものでオオブドウホオズキ（学名：*Physalis philadelphica*(=*P. ixocarpa*)）がある。こちらはウリミバエの寄主植物となり輸入禁止となっている。



ブドウホオズキというあまり聞きなれない名だが、日本では「インカベリー」、「ゴールドンベリー」などの商品名で、主にドライフルーツとして流通している。呼び名の由来にもある通り、古代インカ帝国の時代から栽培されていたという歴史の古いものでもある。

栄養価の高いスーパーフードとして話題であり、とくに美容に効果のある成分が注目を集めている。また、おいしさと気軽さも長く続けられる秘訣とのことで、生果実の場合は、写真の通り見た目も食感もミニトマトに似ている。食べやすいのが特徴であり、味は甘酸っぱくジューシーで、そのまま食べても美味しく、サラダにしたり、肉料理などの付け合せやソースなどに便利に使えるのも魅力だ。ドライフルーツの場合は強めの酸味とほのかな苦味・甘みを感じられ、プチプチした種の食感がクセになると評判だ。また、加工したスイーツタイプの商品も多く、気軽に味わうこともできる。チョコレートでコーティングしたものや、ジャムなどの加工商品もおすすめで、特徴でもある酸味を少し抑え、更に食べやすくしているのが魅力のひとつだ。主に通販サイトなどで簡単に購入できるので、気になった方はぜひ試してみたいかがだろうか。

(業務グループ 小林 優修)

業務グループ 生鮮ニンニク輸入量増加

生鮮ニンニクの輸入量が増加傾向にある。東京港における上半期1～6月のニンニク輸入量は6,364ト(前年対比114.3%)、コンテナ本数357本(同+12本)と増加している。植物検疫統計による2020年全国輸入量は14,247ト(同109.3%)と増加している。東京港の輸入ニンニクは4カ国から輸入され、約8割を中国産が占め、スペイン、米国、イタリアの順になっている。特に増加傾向にあるスペイン産は984ト(同143.2%)と好調に推移する（写真）。

同港に輸入されるニンニクは、中国産の場合は業務用途から小売り用途まで幅広く輸入されており、業務用途では1キロネット袋での輸入や皮を剥いた粒のニンニクを真空パックにした半加工された状態で輸入されるものも多い。スペイン産は1個ずつ販売できる小売梱包された状態のものが多く、カートンサイズも約2kgの小箱から10kgの大箱まで様々なニーズに対応できるよう工夫されている。その反面、植物検疫時にはニンニクの内部を確認するため、必要に応じて外装ネットを取り外すなど検査準備に時間を要することがある。

スーパーなどでは国産品と、輸入品の主にスペイン産、中国産が陳列されている。国産品は輸入品より約2～3倍高い価格で販売される。国産品はブランドとして確立しており、輸入品は安さや3個パックにするなどボリュームを売りにして差別化を図っている。



ニンニクは昔から滋養強壯剤として使用されるように、活性酸素抑制、疲労回復効果、免疫力アップ、美容効果が大いに期待できる。ニンニク特有の香りは、アリシンという成分が作用しており、他の野菜に比べ多く含まれている。

現在、新型コロナウイルスによるテレワークや巣ごもり需要の影響で自炊や家飲みが多くなり、自宅で消費する量が多くなっている。巣ごもり需要で直接顔を合わせることがないため、特有な香りを気にせず安心して食することができる。

産地によって香りや辛さの強さに違いがあるようなので、ぜひ産地ごとの味比べをしてみたいかがだろうか。

(業務グループ 有働 昌平)

東京港輸入植物品目別統計表

(1月～8月累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	50	1,408,039	141,728	0	0	1,408,039	141,728
栽植用球根類	個	75	13,000,698	0	0	0	13,000,698	0
アマリリス	"	7	63,948	0	0	0	63,948	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	68	12,936,750	0	0	0	12,936,750	0
栽植用種子	kg	203	1,715,073	31,911	0	0	1,715,073	31,911
草花・樹木	"	2	1,366	0	0	0	1,366	0
野菜	"	118	526,677	26,911	0	0	526,677	26,911
普通・特用作物	"	30	391,459	0	0	0	391,459	0
牧草・芝草	"	37	696,934	5,000	0	0	696,934	5,000
切花、切葉、切枝	個	1,350	193,940,812	4,152,847	0	0	193,940,812	4,152,847
アンズリューム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	122	3,680,985	0	0	0	3,680,985	0
キク	"	669	64,272,717	0	0	0	64,272,717	0
シダ(レザーフアン)	"	66	11,297,620	237,900	0	0	11,297,620	237,900
果実	kg	5,308	85,860,673	4,624,987	219,181,910	146,147,308	305,042,583	150,772,295
オレンジ	"	662	11,588,819	0	1,836,762	0	13,425,581	0
グレープフルーツ	"	410	8,226,721	62,358	6,923,928	0	15,150,649	62,358
タンジェロ(ミネオラ)	"	133	3,454,871	0	0	0	3,454,871	0
レモン	"	322	4,432,440	102,816	1,398,660	0	5,831,100	102,816
パイナップル	"	880	14,030,645	1,605,740	18,653,048	15,329,118	32,683,693	16,934,858
バナナ	"	828	13,056,615	2,793,789	163,198,963	130,816,690	176,255,578	133,610,479
マンゴウ	"	106	556,390	0	0	0	556,390	0
キーウイフルーツ	"	142	2,369,504	14,519	27,131,447	0	29,500,951	14,519
ブドウ	"	146	2,043,087	0	0	0	2,043,087	0
野菜	kg	8,474	167,776,334	449,230	547	0	167,776,881	449,230
カボチャ	"	414	10,012,084	307,770	0	0	10,012,084	307,770
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	9	124,440	0	0	0	124,440	0
パプリカ	"	68	697,319	0	0	0	697,319	0
メロン(ハミウリ含む)	"	37	566,272	0	0	0	566,272	0
キャベツ	"	122	3,264,931	0	0	0	3,264,931	0
セロリ	"	36	549,522	40,177	0	0	549,522	40,177
ナガネギ	"	924	13,923,329	0	0	0	13,923,329	0
ニンニクの芽	"	35	824,032	0	0	0	824,032	0
ハクサイ	"	19	221,250	0	0	0	221,250	0
ブロッコリー	"	151	1,439,736	27,869	0	0	1,439,736	27,869
レタス	"	221	2,530,175	10,800	0	0	2,530,175	10,800
タマネギ	"	2,725	64,366,353	0	0	0	64,366,353	0
ニンニク	"	479	8,541,436	23,871	0	0	8,541,436	23,871
アスパラガス	"	14	103,112	6,720	0	0	103,112	6,720
ゴボウ	"	207	5,824,920	0	0	0	5,824,920	0
サトイモ	"	45	904,370	26,000	0	0	904,370	26,000
ショウガ	"	306	7,039,821	0	0	0	7,039,821	0
ニンジン	"	847	21,769,200	0	0	0	21,769,200	0
こく類	kg	4,579	93,290,857	7,500	110,818,616	0	204,109,473	7,500
オオムギ	"	83	1,911,857	0	0	0	1,911,857	0
エンバク	"	269	5,972,308	0	0	0	5,972,308	0
コムギ	"	121	2,272,293	5,000	110,818,616	0	113,090,909	5,000
コメ	"	1,203	23,057,392	0	0	0	23,057,392	0
ソバ	"	134	2,603,166	0	0	0	2,603,166	0
トウモロコシ	"	199	3,614,648	0	0	0	3,614,648	0
モルト	"	2,511	52,816,856	0	0	0	52,816,856	0
まめ類	kg	4,571	91,462,591	0	0	0	91,462,591	0
エンドウ	"	16	326,955	0	0	0	326,955	0
ダイズ	"	4,224	84,569,495	0	0	0	84,569,495	0
ラッカセイ	"	187	3,900,575	0	0	0	3,900,575	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	2,943	45,586,316	727	0	0	45,586,316	727
カカオ	"	7	11,088	0	0	0	11,088	0
コーヒー	"	43	409,444	0	0	0	409,444	0
タバコ	"	416	7,650,820	0	0	0	7,650,820	0
アーモンド	"	926	15,268,620	0	0	0	15,268,620	0
クリ	"	9	140,068	0	0	0	140,068	0
クルミ	"	483	8,492,346	0	0	0	8,492,346	0
ポップコーン	"	262	5,280,609	0	0	0	5,280,609	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	20,864	471,839,037	130,627	8,671	0	471,847,708	130,627
乾燥牧草(ヘイ)	"	15,273	355,919,543	130,317	0	0	355,919,543	130,317
アニマルフィード	"	26	288,349	0	0	0	288,349	0
アルファルファヘキューブ・ペレット	"	1,130	28,617,280	0	0	0	28,617,280	0
コーンコブミール	"	17	354,079	0	0	0	354,079	0
飼料大豆カス、ペレット	"	334	7,511,796	0	0	0	7,511,796	0
ビートバルブペレット	"	356	8,403,107	0	0	0	8,403,107	0
イネワラ	"	146	2,349,303	0	0	0	2,349,303	0
ココピート	"	609	11,598,001	0	0	0	11,598,001	0
ココヤシ園芸資材	"	270	5,703,274	0	0	0	5,703,274	0
ビートモス	"	981	21,242,025	0	0	0	21,242,025	0
ミズゴケ	"	27	56,392	0	0	0	56,392	0
タケ	"	47	701,338	0	0	0	701,338	0
木材	m³	0	300	0	0	0	300	0
** 総合計 **	kg	46,942	957,530,881	5,244,982	330,009,744	146,147,308	1,287,540,625	151,392,290
	個	1,475	208,349,549	4,294,575	0	0	208,349,549	4,294,575
	m³	0	300	0	0	0	300	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。